

# 牧川災害復旧助成事業 概要

平成23年7月 新潟・福島豪雨



牧地区の出水状況 7月30日 7時



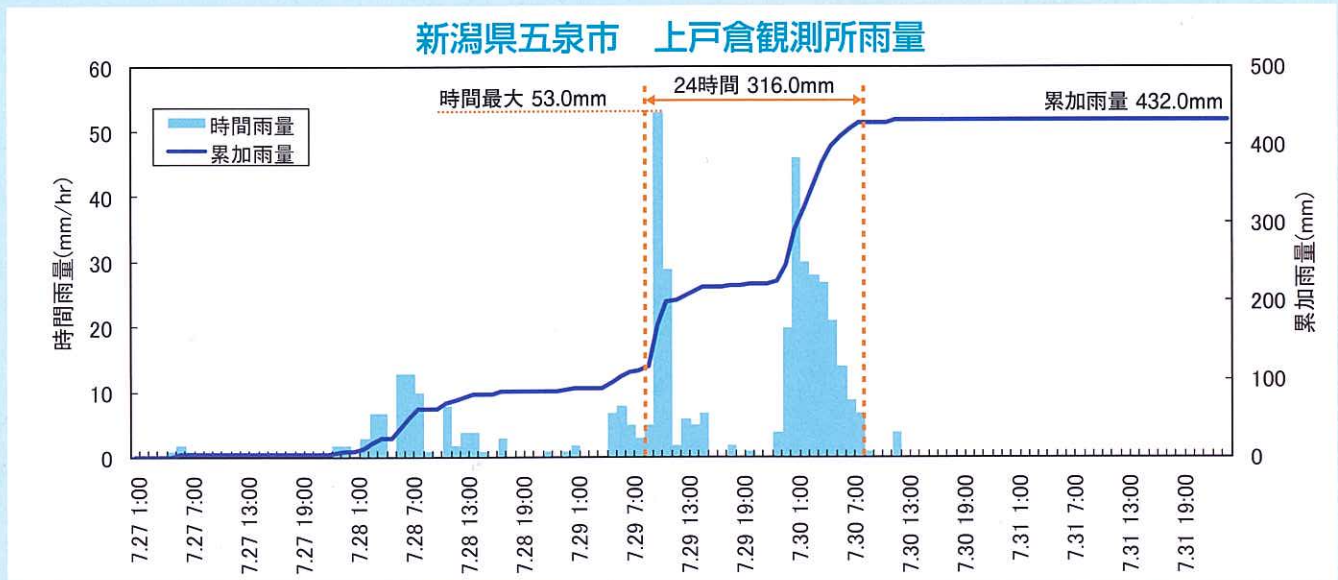
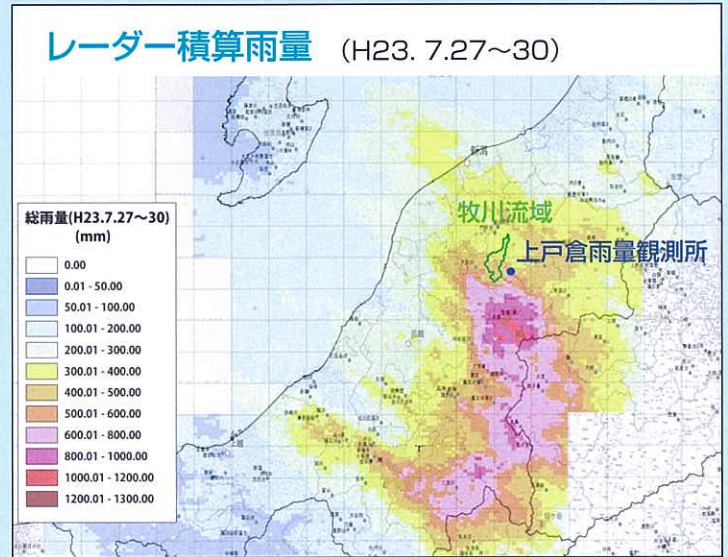
牧地区の平水時状況

# 雨量及び出水状況

## 雨量の状況

平成23年7月26日未明より朝鮮半島から関東の東に停滞していた前線に南の暖かい湿った空気が流れ込み前線が活発化し、この前線によって、27日夕方から30日の朝にかけて狭い範囲で移動、停滞を繰り返し、この箇所にあたった新潟県内の信濃川、阿賀野川流域では長時間にわたって強い雨が降り続けました。

上戸倉雨量観測所では時間最大雨量53.0mm、24時間雨量は観測史上最大となる316.0mmを観測しました。この降雨のため、H12 災助成事業により河道整備が行われた区間の上流で越水が生じ、その水が流下して、中野橋の集落が浸水したほか、農地の冠水や県道、市道が通行止めとなる甚大な被害が発生しました。



## 出水の状況



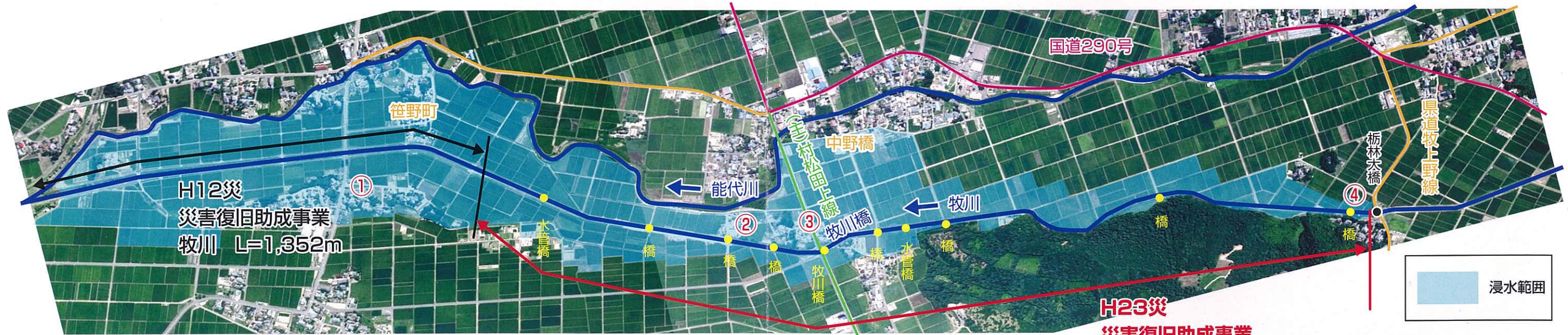
# 被災状況

## 被災要因

上戸倉雨量計測所では観測史上最大となる24時間雨量316mmを記録しました。

この影響により栃林大橋下流から、12災助成改修済区間の上流にかけて堤防越水氾濫が発生し、約100haが浸水しました。

浸水被害は建物にも及び、中野橋や笹野町集落で床上2戸、床下43戸(非住家を入れると48戸)が浸水したほか、護岸の損壊、農地の冠水、道路の冠水による通行止め等の被害が発生しました。



平成23年7月新潟・福島豪雨による牧川浸水状況

人的被害(名)			浸水面積(ha)			建物(戸)		
死者	重傷	軽傷	宅地	農地	計	床上	床下	計
0	0	0	6.0	93.6	99.6	2	43 (48)	45 (50)

( )書は非住家を含む

# 事業概要

## 事業の方針

今回(平成23年7月27日~30日)の被災流量は $128\text{m}^3/\text{s}$ と推定されますが、下流の整備済み区間とのバランスを考慮し $95\text{m}^3/\text{s}$ (H12 災助成と同じ)の一定計画により、河床掘削及び河道拡幅により河積拡大を実施し、洪水被害の軽減を図ります。

### 災害復旧助成事業とは

河川の被害が激甚であって、原形復旧を行う災害復旧工事だけでは十分な効果を期待できない場合において、災害復旧事業費に助成費(改良費)を加えて、一定計画の下に施行する改良事業です。

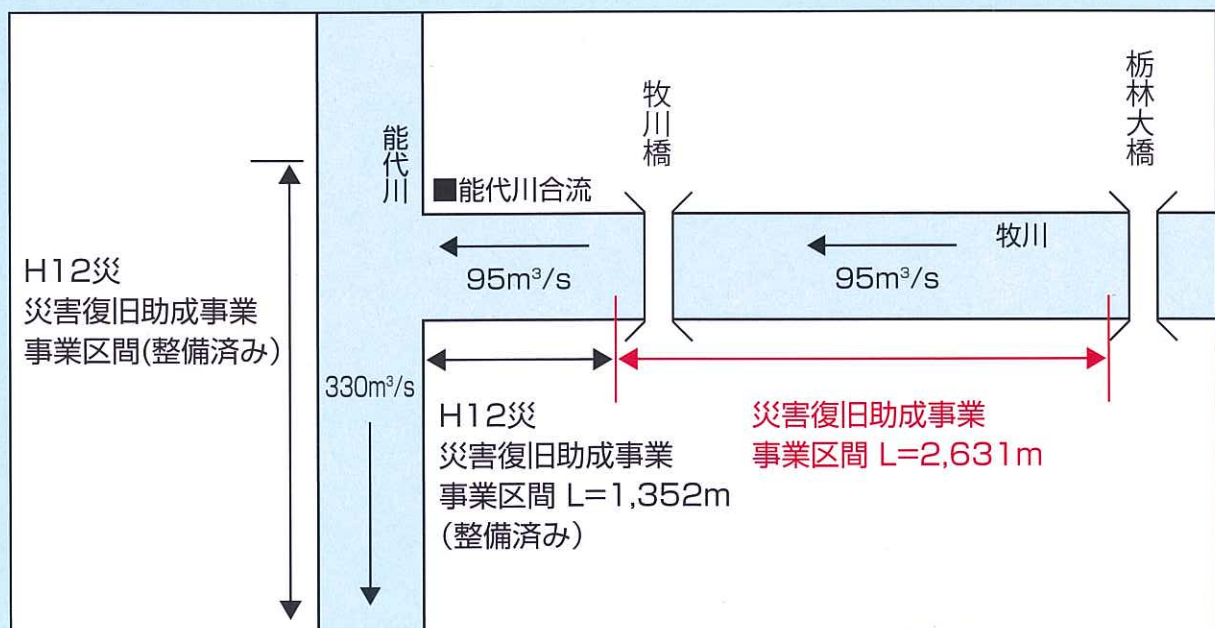
### 整備の方針

- ①洪水の流下する断面を確保するため、河道の拡幅を行います。
- ②河岸を保護するため、護岸を設置します。
- ③河道拡幅に伴い、橋梁の架け替えを行います。

## 事業計画概要

	災害復旧助成事業
施行延長	2,631m
流域面積	$18.35\text{km}^2$
計画雨量	$43.9\text{mm}/\text{hr}$ (流域平均雨量)
計画高水流量	$95\text{m}^3/\text{s}$
計画河床勾配	1/210, 1/160
法勾配	1:0.5
事業費	1,957,144千円【災害費994,399千円、改良費962,745千円】

## 計画流量配分図



# 改良復旧計画

## 平面図



### 縦断形状

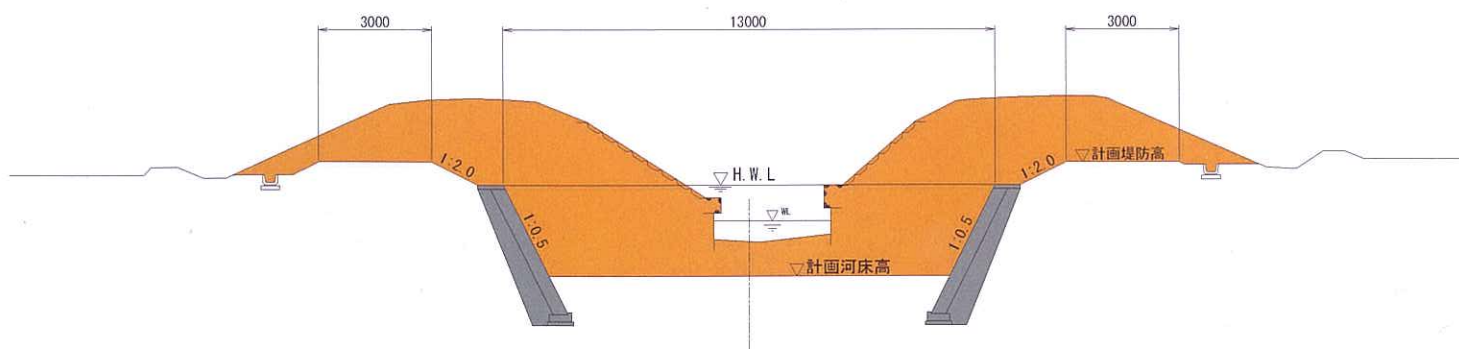
牧川流域の堤内地縦断勾配を考慮して、上流側を1/160、下流側を1/210の計画勾配とする。

### 横断形状

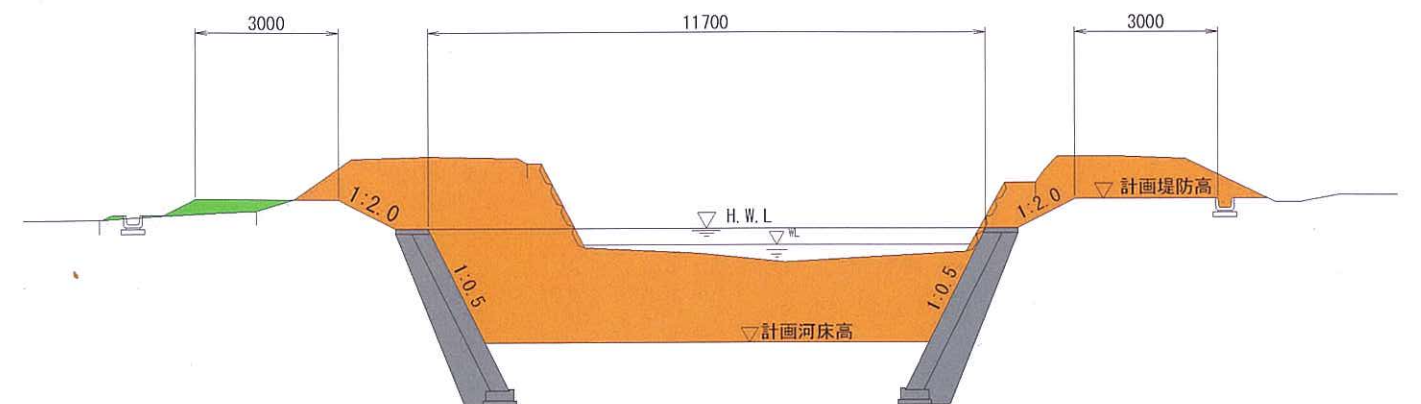
計画流量を安全に流下させるため、掘削により河積を拡大し、現況流下能力を概ね45m<sup>3</sup>/sを95m<sup>3</sup>/sに向上させる。

## 標準横断面図

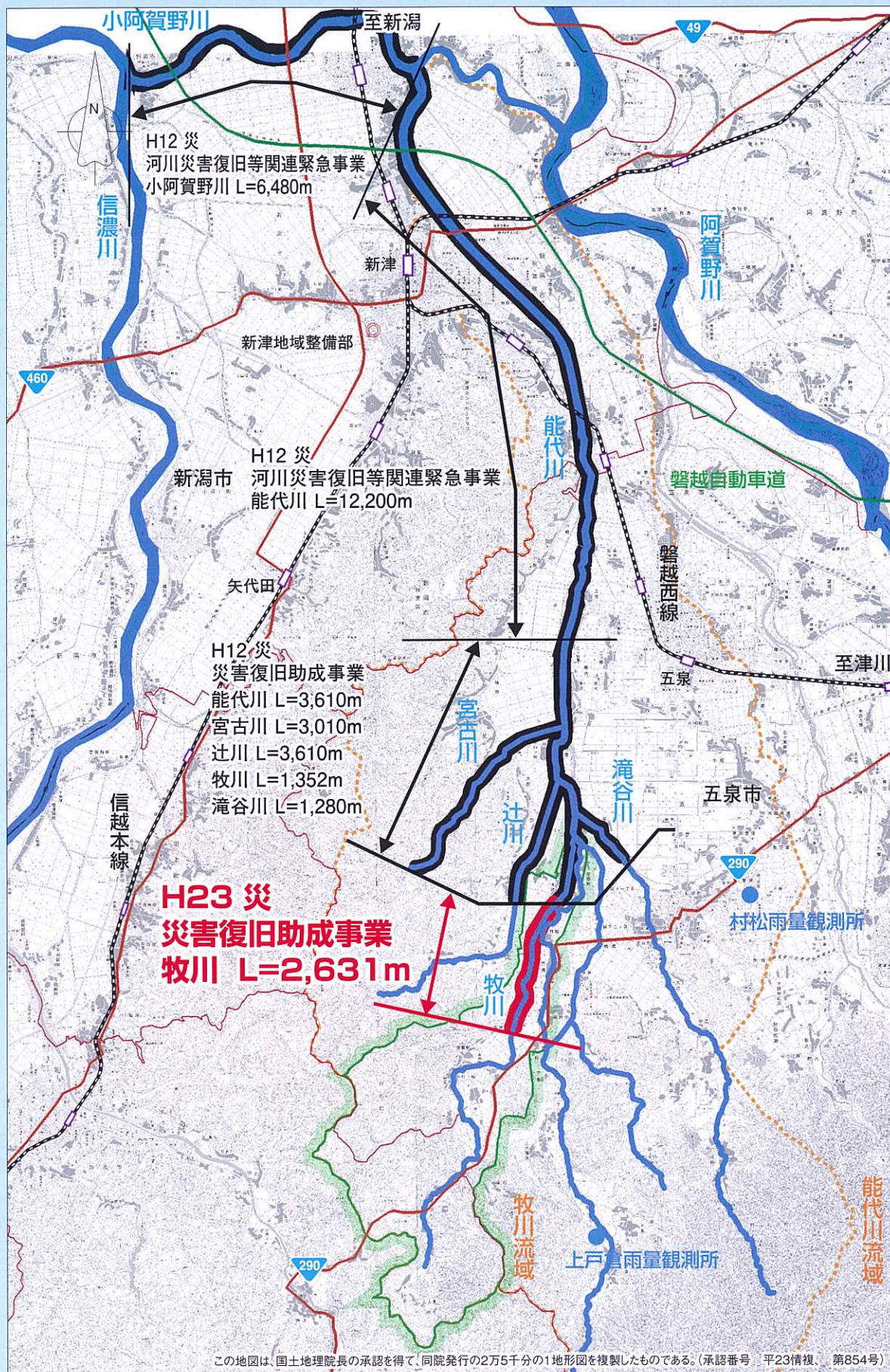
改良復旧断面 1/210 (No.0-11.2~No.32)



改良復旧断面 1/160 (No.32~No.131)



# 牧川流域



新潟県 土木部 河川管理課

新潟地域振興局 新津地域整備部

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1

〒956-0031 新潟市秋葉区新津4524-1

Tel. 025-285-5511(代)

Tel. 0250-24-9659(代)